

東都大学野球 春季リーグ開幕 苦しいスタート

TEIKYO HEISEI Sports Journal

Vol.9

対上智大 2 回戦。9 回裏 1 死 1、3 塁、木戸脇のスライズで 3 塁走者齊藤が生還。4 対 4 の同点に追いつく (大山航平撮影)

今季優勝遠く

東都大学野球春季 3 部リーグが 4 月 12 日開幕した。本学は、昨年度秋季 3 部リーグを制したが、入れ替え戦で涙を飲んでおり、

今季こそ 2 部昇格という悲願達成を目指す。

3 部は、本学のほか、上智大、大正大、学習院大、順天大、成蹊大の計 6 校の

総当たり戦で、2 戦先取による勝ち点で順位を競う。6 月 1 日までの日程。

開幕戦の対戦相手は、上智大。4 月 12 日に行われた 1 回戦は、接戦が続くも延長 10 回に 1 点を取られ、3・4 でサヨナラ負け。初戦から黒星スタートとなった。

同月 26 日に行われた 2 回戦は 3 点を追う 3 回、2 番木戸脇のセンターへのタイムリー三塁打で 1 点を返した。続く伊藤(洗)への暴投で 2 点目。2 点を追う 9 回には、1 死 1・3 塁から 1 番井田への暴投と 2 番木戸脇の

スライズで 2 点を返し、土壇場で追いついたが、延長 10 回に 1 点を失い、4・5 で敗れた。

第 2 週は成蹊大が対戦相手。1 回戦が 1・8 の大敗。2 回戦では 1 回から 3 番伊藤(洗)のセンターへのタイムリー二塁打と 4 番三塚のライトへの 2 点本塁打で 3 点を先制。2 回に 1 点を返されたものの、3・1 で勝利した。勝ち点の行方は、3 回戦に持ち越しとなった。

◆主将・監督コメント◆
【監督コメント】優勝を目指します。下級生主体のチームで発展途上なのでこれから成長してほしいと思っています。

【主将コメント】なんとしても 3 部優勝、2 部昇格を果たしたいと考えています。常にチームのためということを意識しています。第 1 週は、初戦、2 回戦と敗退はしたものの、それを引きずることなく次に向けて切り替え練習に励んでいます。(野崎浩洋)



対上智 2 回戦 9 回 2 死満塁で登板しピンチを切り抜けた飯田投手 (大山航平撮影)

女子柔道部

田嶋前主将に奨励賞

主将として女子柔道部を牽引した田嶋海佳さん(健康医療スポーツ学部)が 3 月 21 日、本学を卒業した。卒業式では、学問やスポーツなどの分野で優れた成績を収めた個人・団体に贈られる沖永荘一学術文化奨励賞を受賞した。2022 年度の全日本ジュニア柔道体重別選手権 70 kg 級で 3 位に輝いたことが評価された。4 年間で振り返って田嶋さんは、「仲間や指導者、周りの方々に恵まれた 4 年間で。大学関係者は



田嶋さん表彰の様子 (大山航平撮影)

じめ多くの方にサポートして頂きました。部活では熱い指導をしてくださった先生方と切磋琢磨してくれる同級生や後輩たちのおかげで、卒業後は引退しようと思っていた柔道を続けたいと思うようになりました。心の底から感謝です」とコメント。今後については、「母校(帝京平成)を拠点に練習させて頂けることになり、より一層努力を重ねて結果を残して後輩たちにかっこいい背中を見せること、そして帝京平成大学の誇りになれるように頑張ります」と意気込みを示した。(大山航平)



後半、十文字学園女子大の攻撃を阻む太田（左）（野崎浩洋撮影）

第39回関東大学女子サッカーリーグ 1部開幕 昨年の涙を胸に戦い始まる

関東大学女子サッカーリーグ1部が4月6日に開幕した。本学は昨シーズン、全国大会で準々決勝まで駒を進めたが、全国制覇には手が届かず、涙を飲む結果となった。今年も優勝を目指してリーグ戦に臨む。

本学は第5節終了時点で、4勝1分け。得失点差で3位と、順調な滑り出しを見せている。

1部は、関東大学女子サッカー連盟加盟の12校の総当たり戦。前期、後期の2シーズンで戦い、上位8チームは、年末年始の全日本大学選手権に出場する。前期リーグは6月末まで。



対十文字学園女子大戦を終えた本学選手たち（長島優希撮影）

主将の太田風砂（健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科アスリートコース4年）は「優勝を目標に、1年間リーグ戦を戦います。今年のチームスローガンである”下剋上”の精神を胸に、どんな相手にもひたむきに立ち向かい、チャレンジ精神を持って1試合1試合全力で闘い抜きます。昨年は5位という悔しい結果に終わりましたが、その悔しさをバネにして、今年こそ優勝をつかみ取り、良い流れをインカレ



▽第1節 対筑波大戦○1・0（4月6日 帝京平成大学千葉キャンパスうるいどグラウンド）

0・0で後半に入ると、46分にMF梶原美咲がシュートを決め、これが決勝点となった。

▽第2節 対十文字学園女子大戦 0・0（4月12日 十文字学園サッカーグラウンド）

両チームともにシュートが少ない展開のなかで、FWの太田風砂やMFの佐藤千優らがゴールを狙ったが決めきれなかった。

▽第3節 対日本体育大戦○1・0（4月19日

本体育大学横浜・健志台キャンパスサッカー場）

前半終了間際の43分にFW太田風砂からのパスをFW辻彩花が決め、決勝点となった。

▽第4節 対山梨学院大戦○3・1（4月26日 帝京平成大学千葉キャンパスうるいどグラウンド）

前半28分にMF岡林 柚葉、33分にMF佐藤 千優がゴールを決めた。後半も、81分にFW太田風砂がゴールネットを揺らした。

▽第5節 対東海大戦○2・0（5月3日 東海大学湘南キャンパスサッカー場）

前半36分にFW秋田萌絵がFW辻彩花のアシストを受け、先制ゴール。後半には、70分にDF河田柚奈が追加のゴールを決めた。

（久保田妃菜）

男子バスケ 4回戦敗退

第74回関東大学バスケットボール選手権に出場。

3回戦からの登場となった本学は、4月29日に大田区総合体育館で国際基督教大と対戦、72・42で勝利したが、翌日30日の4回戦で白鷗大に54・87で敗れた。本大会はトーナメント形式で、関東大学バスケットボール連盟に登録する90校が参加した。（大山航平）

展 望 2 0 2 5

硬式野球部

今年はスローガンに「團」を掲げ、活動しています。技術力以上に人として成長していくために、挨拶や掃除など当たり前のことを当たり前に行い、愛されるチームを目指します。今年のチームは 3 年生以下を中心とした若いチームですが、昨年の入れ替え戦で負けてしまった悔しさを糧に一人ひとりがチームのために全力を尽くし、チーム力で戦い、目標である 2部昇格 に向けて努力してまいります。応援よろしくお願いいたします。

女子サッカー部

2025 シーズンのチーム目標として「日本一」「関カレ優勝」「関東リーグ1部昇格」を掲げています。これを実現するために、チームのテーマを「下剋上」とし、チーム全体・個人ともに下剋上精神を持って戦おうと決意しました。今年こそは必ず日本一を達成し、結果で恩返しできるよう、闘う姿勢を徹底して、ピッチ内外でのコミュニケーションを大切にしながら、常に試合を意識した練習を積み重ねていきます。

男子柔道部

今年のチーム目標は、春と秋の団体戦で全国ベスト 8 に入賞することです。『不撓不屈』をチームスローガンに掲げ、学生自身が主体となって稽古に取り組み、個々の技術力向上に努めると共に、

チーム全体の総合力も高めていきたいと思います。また、柔道だけでなく将来社会に貢献できるような人間性を身につけ、周囲の皆様から応援していただけるようなチームを目指して頑張ります。ご声援よろしくお願いいたします。

女子柔道部

今年の目標は全国大会ベスト 8 に入ることです。そのためチーム全体の団結を強化し、全員が成長できる環境づくりを目指します。練習では基礎技術の徹底を図り、個々の可能性を引き出します。また、出稽古などで様々な選手と稽古を行い自信に繋がれるような取り組みをします。試合では一人一人が自分のやるべき仕事をきっちりこなしチームの勝利に繋がれるように一致団結して頑張ります。応援よろしくお願いいたします。

男子バスケ部

昨年度リーグ戦は全体 6 位で 3 部残留となり、目標に掲げていた「2部昇格」とはなりませんでした。2025年度の目標は「2部昇格」です。目標を達成するために日々の練習に一生懸命取り組み、一日一日を大切に、チーム一丸となり目標を達成できるよう頑張ります。

男子サッカー部

昨シーズン、千葉県 2 部リーグを全勝優勝し、今シーズンから

千葉県 1 部リーグを戦います。チームの目標は「関東リーグ昇格」です。今年は 1、2 年生が多く、活気溢れる個性のあるチームで練習から切磋琢磨しています。決して、簡単な目標ではないですがこの目標を達成できるように日々昇進して参りますので、応援の程よろしくお願いいたします。

チアダンス部

今年度は大会出場、地域活動、他の部活動の応援の三本柱を両立し、部員全員が健康に笑顔で活動していきたいと考えております。また、新しくチアダンス部の形を変えた代の部員が来年四年生になるため今後もチアダンス部が続いていくように後輩主体での活動が滞りなく進むことができるようにサポートを全力で行っていきたくて考えております。今年度もよろしくお願いいたします。



硬式野球部
伊東 洸佑
健康医療スポーツ学部 3 年



硬式野球部
井田 駿吾
健康医療スポーツ学部 3 年



女子サッカー部
太田 風砂
健康医療スポーツ学部 4 年



男子柔道部
齋藤 将輝
健康医療スポーツ学部 4 年



女子柔道部
佐藤 こよみ
健康医療スポーツ学部 3 年



男子バスケ部
小林 慶哉
人文社会学部 3 年



男子サッカー部
池田 歩袴
健康医療スポーツ学部 3 年



チアダンス部
松本 彩佳
薬学部 4 年

編 集 後 記

TEIKYO HEISEI Sports Journal vol.9 をお届けします。

各部ともに新たなシーズンの幕開けを迎えました。ここまでの成績だけを見ればすべてが順風満帆とは言えません。しかし、どの部もかつての「4年生」の大きな背中を追ってきた今の2～4年生が部に活気を与え、その姿が試合の中でも見えてきます。この先、彼らと新入生の力がどのような化学反応を起こしていくのか楽しみです。

メディア部も期待の新人を迎え、各媒体を通して強化部をより盛り上げられるような活動をしていきますので、よろしくお願いいたします。（大山航平）